



最終講義



下記により最終講義を行いますので多数ご来聴ください。

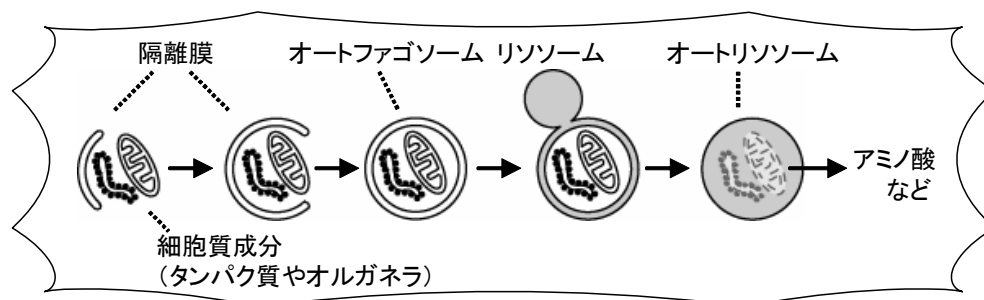
記

演題： オートファジー研究のこれまでと今後

演者： 水島 昇 先生（細胞生理学分野）

日時： 平成 24 年 11 月 29 日(木)17 時 30 分～18 時 30 分

場所： M&D タワー 鈴木章夫記念講堂



オートファジーの仕組み

講演要旨：

オートファジーは真核生物に普遍的に備わっている主要な細胞内分解系です。出芽酵母の遺伝学的解析を発端にして、オートファジーの研究はこの約 10 年間で大きく進展しました。その結果、オートファジーは飢餓適応、細胞内品質管理、初期胚発生、神経変性・腫瘍抑制、細胞内微生物分解などの多岐にわたる役割を持つことが明らかになり、医学との関連も徐々にですが見えてきました。本講演では、本学で行ったオートファジーの生理学的意義と分子機構の研究成果をまとめ、今後解かなければならない課題について現状を含めて議論したいと思います。

【連絡先】 細胞生理学分野（内線：5156）